



じぶん未来BOOK

生徒指導や学び直しなど、改革の中で生きた『じぶん未来BOOK』

とうなん
— 京都・市立 塔南高校 —

取材・文／太田知子



左から
生徒指導主事
黒澤寛己先生
生徒部
田中文明先生

School Data

創立1963年／普通科Ⅱ類・普通科Ⅰ類・教育みらい科
生徒数795人(男350人、女445人)
進路状況(2012年度)／大学・短大進学58.4%、
専各進学20.9%・就職5.1%・その他15.5%
京都市南区吉祥院観音堂町41番地
TEL 075-681-0701
URL <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/tounan/>

京都市立塔南高校には長年、生徒の自主性を尊重する伝統があった。しかし理想が形骸化し、生徒の実態にそぐわなくなってきたことに危機感を覚え、2009年に生徒指導改革が始まった。服装の乱れを正し、朝のあいさつや授業での着席を徹底。生徒は少しずつ落ち着いてきた。

11年度からは、「総合的な学習の時間」に、基礎学力を養うための学び直し教材と社会で必要な実践力を養うためのDVD視聴に取り組みをした(左図)。「最低限の学力は必要ですが、それだけで進路が拓けるわけではありません。基礎学力も含め、社会で通用する力をつけることを、この時間の目標に据えました」と語るのは、当時、「総合的な学習の時間」を担当した黒澤寛己先生。

よい教材でよい授業をすれば
生徒は驚くほど変わると実感

12年度も同様の内容で実施している最中に、黒澤先生はある懇親会で他校の先生から『じぶん未来BOOK』の評判を聞

1学年「総合的な学習の時間」で使われているDVD



生徒が視聴するDVDは法を守る重要性を説くもの、詐欺などの被害を防ぐためのもの、たばこやデートDV(ドメスティック・バイオレンス)防止を目的としたものなど。これらのDVDを通して社会生活を営むうえで必要な基礎知識を身につける。「学び直し教材や『じぶん未来BOOK』とDVDを併用することで、ライフスキル能力全般を高める目的があることを生徒に伝えています」と黒澤先生。

学校改革の軌跡

2009年度：生徒指導

●生徒指導の徹底
登校時の校門でのあいさつ、服装指導、チャイム着席の徹底、毎回の授業での出欠席の確認の徹底など

2011年度：基礎学力

●1学年の「総合的な学習の時間」で学び直し教材とDVDを使った取り組みをスタート
●「塔南教師塾」スタート
月1回、有志の先生10～20人が集まり、ベテラン教員による講話や授業の悩み相談などを実施し、指導力向上を目指す。教員同士のコミュニケーションの場としても活用。

2012年度：キャリア教育

●1学年の「総合的な学習の時間」で学び直し教材、DVDに加え、『じぶん未来BOOK』を使ったワークシートの取り組みを実施
●3学年の「総合的な学習の時間」で新聞記事を読んで感想を書く学習をスタート
社会に目を向け、将来を前向きに具体的に考える力をつけるため若手教員によって実施

改革が始まってから中退、留年、遅刻などが減少し、成果を感じている。「今後は2学年の「総合的な学習の時間」も生徒の進路決定力を高める内容に整備したい」と語る黒澤先生。将来的には生徒の可能性を最大限に伸ばし、各自が望む進路をかええられるキャリア教育を実現することが目標だ。

いた。「生徒がよく読むよ」という言葉に興味をもって読んでみると、確かに魅力的。そこで3学期から、学び直し教材が終わったなら、『じぶん未来BOOK』の50人の登場人物の中から興味のある記事を読み、付属の「ひと言感想シート」に感想を書く取り組みを始めた。

生徒は驚くほどの集中力を見せた。黒澤先生はこの状態を「心のコップが上を向いた」と表現する。下を向いたコップにいくら水を入れようとしても流れるばかり。生徒指導を経て、学校全体に学ぶ雰囲気が出てきたタイミングだったからこそ、本の魅力が生徒に届いたのだという。

ワークシートには、「○○がやりがいだとわかった」など、気づいたことを真剣に書いている生徒が多かった。「授業終了後、『A大学B学部に行きたいが、どう勉強すればいいか?』と質問にきた生徒もいました。『じぶん未来BOOK』を読んで、進路を考える意欲が高まる効果は確実にありました」と黒澤先生。

黒澤先生は生徒指導改革から積み重ねた成果の一端を覚えてもらおうと、毎回

「総合的な学習の時間」の授業を公開した。「こんなにできるんだ」「信じられない」と驚く先生もいた。

身近な職業の魅力に気づき
将来を思い描く契機に

13年度、黒澤先生はさらなる学校改革を目指して兵庫教育大学大学院で勉強中だ。現在は、黒澤先生の取り組みを高く評価していた生徒部の田中文明先生が引き継いで、同様の授業を実施している。「この本のいいところは、自分の将来に重ねられるような身近な職業の人がたくさん出ており、高校時代の思い出を語っていること。卒業後の自分の姿に重ね、進路を具体的に考え始めるきっかけになっていると思います」と田中先生。

今後は「総合的な学習の時間」を充実させることが当面の目標だ。11年度からは、有志の先生による定期的な勉強会「塔南教師塾」を開催。改革を加速させるために教員同士の連携を深め、一人ひとりのスキルアップを目指している。

「未来講演」で進路決定の主体が自分であることに気づく

はんざん
—香川・県立 飯山高校—

取材・文／太田知子



2学年担任
岡田美德先生

School Data

創立1914年／総合学科・看護科・専攻科(看護科)
生徒数577人(男165人、女412人)
進路状況(2012年度)／大学・短大進学25.0%、
専各進学41.5%・就職24.5%・その他9.0%
香川県丸亀市飯山町下法軍寺664-1
TEL 0877-98-2525
URL <http://www.kagawa-edu.jp/hanznh01/>

3年間のキャリア教育の流れ

1年次「みつめる・自己理解の深化」 「産業社会と人間」2単位

自己の探求、系列ガイダンス、地域交流、職業と生活、学習計画作成、ライフプラン作成・発表

2年次「のぼす・自己の伸長」 「探求」1単位

進路ガイダンス、科目選択ガイダンス、学習計画見直し、インターンシップ・上級学校授業体験、テーマ学習、成果発表

3年次「かなえる・進路実現」 「探求」2単位

希望進路の情報収集・分析、面接練習・小論文演習、履歴書・願書の書き方、ゼミ形式学習、成果発表

昨年度から「産業社会と人間」では学校独自のオリジナルワークブックを利用。3年次の「探求」で行われるテーマ学習では、10～15人の生徒に教員1人がつき、少人数による個別指導やゼミ形式の授業を実施。各自の興味・関心に基づき学習を深められるよう、きめ細かな指導を行っている。

『じぶん未来BOOK』を読む際使ったワークシート

ダウンロード可



書くことが得意でない生徒も多いため、『じぶん未来BOOK』付属のワークシートの記入項目を減らしたオリジナルのワークシートを作成。「STEP5で、なりたい自分に出会うために今何をするか」前欄でも、「遅刻をしない」「勉強をする」など、前向きな目標を書く生徒もいました。(岡田先生)。

「未来講演」と『じぶん未来BOOK』を使った取り組みは、昨年度1年次の2学期に行った。3学期にライフプランを描くための準備として、職業選択の視野を広げることが大きな目的だ。

講演では、進路を決めるときは幅広い選

幅広い選択肢を検討する 大切さを伝えるために実施

2年次から「人文・国際」「福祉」「環境」「食品文化」「情報ビジネス」の5系列に分かれるが、系列の選択にあたり「大学進学に向けた勉強を優先すべきか、好きなことを学ぶべきか」「好きな分野より就職に有利な資格をとれる分野にすべきか」などで悩む生徒が多いという。

生徒たちは、講演後『じぶん未来BOOK』を読み、オリジナルのワークシート(左図)に取り組んだ。「3年後、10年後どんな自分になりたいかを書く欄には、夢や希望を素直に書く生徒が多かったですね。講演を聞いて将来を前向きに考えられるよう

「私自身、楽しくて聞き入ってしまいました。講演では心に響く言葉、ピンとくる言葉がたくさんあったようです。『自分の将来は自分で決める』『夢は見るものではなくかえるもの』という感想を書く生徒が多かったです。進路指導の際はつい安定性などを気にしてしまうのですが、それより自分で決めた道を進むことが大事なんだ、と勉強になりました。」

田美德先生は、講演前、「生徒は真剣に聞いてくれるだろうか？」と不安があった。しかし、「一緒に講演を聞き、多くの生徒が集中していることがわかった。」

昨年の「産業社会と人間」を担当した岡田美德先生は、講演前、「生徒は真剣に聞いてくれるだろうか？」と不安があった。しかし、「一緒に講演を聞き、多くの生徒が集中していることがわかった。」

「その後1年次の間は「朝の読書」の時間に『じぶん未来BOOK』を読み、ひとつずつ感想を書くワークシートに取り組みなどして継続して利用する生徒もいた。」

「一般的な仕事紹介ではなく、特定の人のストーリーを読めるのがこの本の魅力。だからこそ生徒もよく読み、さまざまな仕事への理解を深められました。」

『じぶん未来BOOK』の継続利用がライフプラン作成に役立つ

ライフプランを書く際にも、教室に置いてある『じぶん未来BOOK』を参考にし、将来について深く考え、まとめることができた生徒が少なからずいた。そうした生徒はその後目標に向けて自分で考え行動することができているそうだ。

しかし系列を決め、2年次進級後も「この選択で良かったのか」と悩む生徒や、卒業後の進路は遠い先のことだと考える生徒もいる。今後一人ひとりの状況に応じた指導が欠かせないと考えている。